

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2000-277972(P2000-277972A)
【公開日】平成 12 年 10 月 6 日 (2000.10.6)
【出願番号】特願 2000-4521(P2000-4521)
【国際特許分類】

H 0 5 K 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 9/00 M

【手続補正書】
【提出日】平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 5】

上記焼結フェライト磁性体 5 における各格子棧部 5 a の基部には約 5 mm 角の開口部 5 d (図 2 に示す) が設けられる。そして該広帯域用電磁波吸収体 1 を電波暗室内に取付ける場合、該電波暗室自体としての電磁波吸収特性としては減衰比 - 15 dB 以上 (吸収率: 約 90% 以上) が要求されるが、これ以上の減衰比の電磁波吸収特性が要求される用途にあっては、上記開口部 5 d 内に厚さ 1 ~ 5 mm の焼結フェライト板 5 e (図 5 に示す) を挿嵌したり、金属反射板 3 の上面全体にわたって取り付けられる焼結フェライト板 5 f (図 6 に示す) を介して焼結フェライト磁性体 5 を設ける構成であってもよい。